

石見銀山プログラム：丁銀キーホルダーを作ろう

丁銀とは？・・・主に戦国時代から江戸時代にかけて流通した銀貨幣のことで、石見銀山でとれた銀から生まれた丁銀にはいろいろな種類がありますが、もっとも有名なものは、毛利元就が朝廷に献納した、現存するものが1枚だけの「御取納丁銀(おとりおさめちょうぎん)」と呼ばれるものです。これらの丁銀をあしらったキーホルダーを、プラバンで作ってみましょう。丁銀には様々な形や大きさ、絵柄のものがああります。資料を基に写し描きしたり、じっくり観察しながら模写したり、また、オリジナルデザインの丁銀を作っても面白いですね。世界に一つだけの丁銀キーホルダーを作りましょう。



活動可能人数	100名	活動季節・条件	通年
所要時間	1～2時間半(制作個数で変わります。)	実施場所	各研修室・体育館他
主な対象	小学校中学年～(世界遺産「石見銀山遺跡」や「丁銀の由来」について理解できる方)		
指導について	作品製作は自主活動です。		

活動の概略

- ・透明プラバンに丁銀の絵を写し描きしたり、よく観察して描いたり、自由にデザインしたりします。
- ・描いた図柄をハサミで切り取り、パンチで穴を開けます。
- ・オーブントースターで約20秒間加熱したあと、取り出します。重しを乗せて冷えたら、金具を取り付けて完成です。
- ・必要に応じて、スプレーを裏から塗ると、より本物らしくなります。乾いたら、名前等をペンで書いてもいいですね。

準備物

交流の家が貸し出しできる用具・材料

- ・丁銀の写真資料(チラシ等)
- ・オーブントースター6台
- ・はさみ
- ・穴あけパンチ
- ・ラジオパンチ
- ・黒マジック
- ・きり
- ・木の板
- ・重しにする厚手の本
- ・ゴミ袋
- ・新聞紙
- ・軍手

利用者または団体で準備する用具・材料

- ・油性または水性顔料の黒マジック(各個人)、銀ラッカースプレー、油性または水性顔料カラーマジック各色(自由作品を作る場合は必要に応じて)

売店まで購入する物

- ・プラバンセット200円(キーホルダー金具、携帯ストラップ金具各1個入りで、2個以上の作品が出来ます。銀ラッカースプレー)

当日の動き

- ①打合せ 研修場所、用具、実施上の留意事項等の確認をし、作り方の説明をします。打合せ後売店で材料の購入手続きをしてください。
- ②用具の受け取り 打合せした用具を受け取り、必要なものを売店で購入してください。
- ③事前説明 自主活動ですので、職員の直接指導はありません。
- ④活動(展開) 決められた場所で活動します。(石見銀山のDVDを貸出することも可能です。)
- ⑤ふりかえり できあがり作品をながめながら活動をふりかえります。
- ⑥用具の片づけ 活動場所の清掃、ゴミの処理、貸し出し用具の返却をします。

安全対策・環境への留意点他

- ・やけどをしないように作品・用具の取り扱いには十分気をつけてください。スプレーを塗られる際は、十分な換気を行い、施設を汚さないように細心の注意を払ってください。
- ・活動終了後は、使った場所の清掃を行い、ゴミは貸し出し用具と一緒に指示された場所へ持ってきてください。
※団体の方が持ってこられたものから出たゴミについては、お持ち帰りください。

備考

- ・他の石見銀山プログラム(石見銀山てくてくラリー)とセットで実施することで、より研修の効果が高まります。